

102-4

問題文

日本薬局方において、容量分析用標準液のファクター f は、通例どの範囲にあるように調製されるか。1つ選べ。

1. 0.850～1.150
 2. 0.900～1.100
 3. 0.950～1.050
 4. 0.970～1.030
 5. 0.990～1.010
-

解答

4

解説

容量分析用標準液とは、濃度が精密に知られた試薬溶液のことです。具体的には、0.5 mol/L 塩酸や 0.1 mol/L 水酸化カリウム液などです。

ファクターとは、濃度の補正係数のことです。通例の範囲は知っていないとわからないのですが 0.970 ～ 1.030 の範囲になるように調製するように定められています。

以上より、正解は 4 です。

参考)